

◎ 鶴岡市立羽黒第一小学校

地域に学び、地域を愛する ～夢をもち、月山の高きをめざす大東っ子～

明治7年創立の「手向（とうげ）学校」に源を発する本校は142年の歴史を重ねています。明治17年に有栖川宮熾人親王より賜った「大東学校」を永く校名としていました。東日本一の霊山・羽黒にある出羽三山神社の門前町として栄えたここ旧羽黒町手向地区は、磐梯朝日国立公園に近接した自然豊かな地域でもあります。

地域の自然や伝統文化の継承に学ぶ

5月の「南谷清掃」は昭和初期から受け継がれています。松尾芭蕉が訪れ「有難や雪をかほらす南谷」と詠んだ名勝の維持管理を通して地域の歴史と文化を学んでいます。7月は「花祭り」で神輿を担ぎ御神楽を舞って人々の五穀豊穡の願いを学んだり、「月山登山」で自然の雄大さや美しさ、達成の喜びを実感しています。8月は「八朔祭」奉納相撲大会に出場し、賑わい盛り上げることで地域の安寧を思う心を学びます。1月の「カルタ会」は出羽三山神社社務所を会場に荘内郷土カルタと出羽三山カルタを使い、端的な表現にこもった地域の歴史の重みや振興の願いを学んでいます。



「羽黒山こどもガイド」学びを生かした交流

交流の機会を生かした学び

出羽三山の文化や歴史についての学びを再構成し、地域に表現の場を求め訪れる方々に向けて発信する実践を進めています。「羽黒山こどもガイド」の学習では広く国内各地や海外から訪れた方々と交流することができました。国宝・五重塔のライトアップイベントには「スマイル6コンサート」として参加しました。本校の特色ある教育活動の一つであるスクールバンドの発表の場として生かすことができました。

「笑顔あふれる学校」でありたい

本校は全校児童48名の小さな学校です。全校児童が兄弟姉妹のように仲よく学んでいます。小さな学校であることの強みを生かし、わかる・できる・おぼえる授業や学年・学級の枠を越えて地域にも場を広げた交流活動を進めています。地域の中の学校として「共育・協育・響育」をテーマに掲げて児童の健全育成をめざし、児童会目標「思いやり、笑顔いっぱい大東っ子!」の通り、多くの人とつながりながら人間力を高めていきたく願っています。



「1年生を迎える会」
ジェンカで全校一つの輪

◎ 米沢市立第二中学校

「かしこい人」を育てる学校

本校は、上杉の城下町米沢のほぼ中央に位置し、大河ドラマ「天地人」で注目を浴びた林泉寺のすぐ近くにあり、創立68周年を迎えます。教育目標は「広い視野に立ち主体的に行動する生徒」目指す生徒像は「考える人、思いやりのある人、やり遂げる人」併せて、教育スローガンの「友愛のもと自立と英知の旗を掲げよう」を合言葉に448人の生徒が日々学習・部活動・生徒会活動に励んでいます。

「かしこい人」を育てる指導法の研究（校内研究のテーマ）

「かしこい人」の育成を目指し、公開研究発表会や学校経営計画指導訪問の機会を活かし学校研究に取り組んでいます。言語活動の充実を通して、単に知識や技能を身につけるだけでなく、それをどう活用させ、さらに学習意欲や学習習慣の育成をも見通した学習指導を研究してきました。今年度は米沢市で進めている「だれもが行きたくなる学校づくり」研修をうけ、協同学習にも取り組み、共に創るよりわかる授業を目指しています。



私が⇒私たちが（今年度生徒会のスローガン）

本校は全国でもあまり例のない生徒会憲法を制定し、趣旨を大切に活動している生徒会があります。「友愛・自立・英知」を軸に、みんなで決めてみんなで実行する話し合い活動を大切にしています。特に今年度は縦割りを意識したピアサポート活動に取り組み、「つなぐ、支える」ことを実践しています。行事では体育祭と文化祭を「二中祭」とし、「つなぐ」をテーマで取り組んでいきます。

